

平成30年度 学校プロフィール

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校

1. 目指す学校像について

項目	内容
(1) 目指す学校像	<p>【目指す学校像】「来てよかった、明日も来たい」と思う学校づくり</p> <p>①生徒たちが学び合う学校 ②教師が専門家として学び合う学校 ③保護者や地域が参加し、協力し合う学校</p> <p>【目指す子ども像】「仲間とともに、学び合い、高め合う生徒」</p>
(2) ありたい姿 (実現したい学校の状態)	<p>①基礎学力が定着し、自分なりに表現したり、自主的に学習したりできる。 ②学習課題を解決するために、生徒どうしで楽しく学び合えることができる。 ③自他を大切にし、思いやりや正しい判断力を身につけ、互いに支え合うことができる。 ④問題に対して投げやりにならず、仲間と協力し合って問題を解決できる。 ⑤教職員がそれぞれの持ち味を発揮し、目指す学校に向けて協力して取り組むことができる。 ⑥学校と保護者・地域が双方向に連携・協働することができる。</p>

2. 現状の認識について

(1) 「価値」を提供する相手方		
① 相手方の区分	②現在の要求・期待	
生徒	楽しく学ぶことができる授業, 安全安心な学校, 楽しく仲の良い学校	
保護者	安全安心な学校, 学力の向上, 補充学習の充実, 進路保障	
地域住民	ルールやマナーの遵守, 社会活動への協力, 地域を担う人材の育成	
(2) パートナー		
①パートナーの区分	②パートナーからの要望・期待	③パートナーへの要望・期待
保護者	安全安心な学校, 学力の向上, 進路保障	目指す子ども像の共有と実現に向けた協働
地域住民・団体	地域に根差した特色ある教育活動, 人材育成	価値観の共有と協働による地域力の向上
関係機関	情報交換と密接な連携による教育環境づくり	情報交換と密接な連携による教育環境づくり
他の幼小中高	学力保障や基本的な生活習慣育成の連携	学力保障や基本的な生活習慣育成の連携
(3) 組織の現状	<p>①夢を持って主体的に学ぶことでの学力保障及び進路保障が必要である。 ②家庭環境の変化等による不登校が増加しており、子どもへの様々な支援が必要である。 ③保護者や地域に対して、協働事項を明らかにし、情報発信を行い、理解と協力を求めていく必要がある。 ④交通事故防止や自然災害(地震、津波、大雨等)、不審者等の危機管理への必要性が高まってきている。 ⑤教員の過重労働が増加しており、総勤務時間の縮減の必要性が高まっている。</p>	

3. 目指す学校像実現のための重要な視点(方針)について

(1) 重点化に向けた視点	<p>①キャリア学習を系統的に進め、将来への夢を持ち、楽しく学び合うことができる授業を工夫し、家庭学習の充実に努める。 ②全職員が一致協力し、生徒に寄り添う指導に努め、問題行動やいじめ、不登校の早期発見、早期対応を図るとともに、生徒の交通事故防止に努める。 ③自他を大切にする心情を育み、身近な生活の中にある人権問題に気づき、仲間とともに主体的にいじめ・差別をなくしていこうとする意欲や態度を育み、自己肯定感を高める人権学習を進める。 ④地域に開かれ、地域に密着した学校づくりを通して、地域を担う生徒を育成し、地域への貢献活動を充実させる。 ⑤教職員集団のチーム力を高め、地域・保護者の協力で総勤務時間を縮減する。</p>
(2) 上記の背景・理由	<p>①確かな学力を育み未来を拓く子どもの育成。 ②暖かい人間関係を形成し豊かな心、健やかな体の育成。 ③鈴鹿型コミュニティ・スクールの取組により学校と保護者・地域が連携・協働し教育活動推進。 ④チーム学校として安心して教育活動に従事できる職場環境の形成。</p>